

上映作品

開場各10分前/自由席/完全入替制 (混雑した場合、早めに関場する場合がございませう。スタッフの現場アナウンスにご注意ください)

1 作品料金

一般・シニア

前売1,000円
当日1,500円

学生以下

前売 800円
当日1,300円

販売窓口

チケットぴあ

P: 555841

プレイガイド

大丸藤井
道新
教文

※『走れ〜』『友だちの〜』をご鑑賞の方は『壊れ始めて〜』を無料でご招待します。『壊れ始めて〜』のみをご鑑賞の方は、一律500円のチケットを当日販売します。『走れ〜』の全国共通前売券をお持ちの方はご使用できます。15歳未満の方は『友だちの〜』のご入場をお断りします。払戻はできません。前売券の電話予約を受付中!



『壊れ始めてる、ヘイヘイヘイ』 (2016/30min)

監督/佐藤快磨 出演/太賀、岸井ゆきの、牧田哲也 他

次世代の映画作家の発掘や育成を目的とした文化庁の委託事業「ndjc:若手映画作家育成プロジェクト」2015年の製作実地研修完成4作品のうちの1本。ある日の仕事帰り、コンビニで女性店員のマコトにクリームをつけている客を見かけ、気がつくとその客に飛び蹴りを食らわされていた木吉。マコトはその飛び蹴りに心をつかまれ、木吉以降、木吉はマコトを笑顔にしようとして、クレーマーを見かけるたびに飛び蹴りを続ける。しかし、そんな木吉の胸中で、人を蹴ることの罪悪感と、マコトを笑顔にしたいという相反する気持ちが膨らんでいき……。

『友だちのパパが好き』 (2016/105min)

監督/山内ケンヂ 出演/吹越満、岸井ゆきの、安藤輪子 他

親友が自分の父親が好きになったことから巻き起こる恋愛模様を描いた純愛コメディ。自分の父親のことを「好きだ」と親友のママから真剣に告白され、あきれの妙子。その話を聞き、母は笑い飛ばすが、父はまんざらでもない様子だ。妙子への突然の告白をきっかけに、ママは父親へのアタックを猛然と開始。常識もかえりみないママの純愛が、家族、恋人、先生と様々な人間関係をも巻き込んでいく。



『走れ、絶望に追いつかれない速さで』 (2016/83min)

監督/中川龍太郎 出演/太賀、小林竜樹、黒川芽以 他

連と学生時代からの親友、薫が命を絶つ。薫が描き遺した絵に中学時代の同級生、斉木環奈の姿があった。現実を受け入れられない連は、環奈に薫の死を知らせるため、薫の故郷へ向かう決意をする。史上初の東京国際映画祭2年連続入選を、最年少にして果たした中川龍太郎監督の体験がベース。全員20代だからこそ描ける青春の孤独感が瑞々しい。主演の連は『あん』や『淵に立つ』(9月公開予定)、4月期に日本テレビ系で放送された『ゆとりですがなにか』で“ゆとりモンスター”の熱演が記憶に新しい期待の若手俳優・太賀。

トークイベント〈ゆとり世代の、“エイガ”感〉 (50min)

生活感・存在感ある若者の演技で監督たちに引っ張りだこ…太賀さん。学生時代から国内外の映画祭で受賞歴を持つ、インディペンデント映画界注目の新星…中川監督。ハーバード大学医学部・細胞再生の研究者などの経歴を持ちながら、映画という“水モノ”世界に飛び込んだ道産子プロデューサー…木ノ内さん。3人の共通点は(20代=“ゆとり世代”)映像界で活躍しているということ。撮影・上映のデジタル化、鑑賞スタイルの多様化など、20年かそこらで驚愕の進化を遂げた映画環境に、さらなる新風を巻き起こす3人が語る“エイガ”とは?

有料チケットの半券を当日受付に提示すると、『壊れ始めてる〜』と〈ゆとり世代の〜〉の無料招待券をプレゼント!

スケジュール 〈開場各10分前〉 ※舞台挨拶は上映後です。

- ①10:00~11:40 『走れ、絶望に追いつかれない速さで』+舞台挨拶
- ②11:50~12:20 『壊れ始めてる、ヘイヘイヘイ』
- ③12:50~14:35 『友だちのパパが好き』
- ④15:00~15:50 〈ゆとり世代の、“エイガ”感〉
- ⑤16:20~18:05 『友だちのパパが好き』
- ⑥18:30~20:10 『走れ、絶望に追いつかれない速さで』+舞台挨拶
- ⑦20:20~20:50 『壊れ始めてる、ヘイヘイヘイ』

サブタイトル〈日本映画スプラッシュSP〉について

上映作品の『走れ〜』『友だちの〜』は東京国際映画祭2015の「日本映画スプラッシュ」部門招待作品から選びました。限られた予算の中で新しい表現に挑み工夫を凝らす作家や演者の意欲あふれる“個性発散型ムービー”です。東京国際映画祭(TIFF)に敬意を表して特集タイトルとしました。『壊れ始めてる〜』もこの流れにある生きのいい作品です。また、上映作品の共通点は、映像界注目の若手俳優、太賀さんと岸井ゆきのさんのどちらか出演しています。裏の名は(太賀・岸井ゆきのSP)とも言えます。

ゲスト〈太賀さん、中川監督、木ノ内プロデューサー〉 ※登壇者は予告なく変更する場合がございますこと、予めご了承ください。



札幌の皆さまへ
『走れ、絶望に追いつかれない速さで』の北海道上映を
楽しみにしております
太賀

太賀 1993年、東京都生まれ。【主な出演作】《映画》『フリージア』(07)、『感染列島』(08)、『桐島、部活やめろっ!』(12)、『ほとりの朔子』(14)、『私の男』(14)、『アゲイン 28年目の甲子園』(15)、『あん』(15) 他。年内公開作にカンヌ映画祭ある視点部門受賞の『淵に立つ』、『龍宮川』、『ザ・ファイナル』、『アズミ・ハルコは行方不明』がある。《テレビ》『風林火山』(07)、『天地人』(09)、『あまちゃん』(13)、『夜のせんせい』(14)、『恋仲』(15)、『ゆとりですがなにか』(16)、TBSで現在放送中の『仰げば尊し』(16) 他

中川 龍太郎 1990年、神奈川県出身。慶大在学中に自主制作した『Calling』がボストン国際映画祭最優秀撮影賞を受賞。TIFFで『愛の小さな歴史』に続き、2年連続出品を最年少にして果たし、フランスの映画批評誌『カイエ・デュ・シネマ』がとり上げる。

木ノ内 舜 1988年、旭川市出身。ハーバード大医学部に在籍中に『Calling』制作した。帰国後、総指揮した『愛の小さな歴史』がTIFFで入選、続けて『走れ〜』が史上初の2年連続入選を飾る。多彩な経歴からの起業と展開を「映画界のテスラ」と評す米評論紙も。

9月3日(土) 限定

問合せ先/ 札幌映画サークル (011-747-7314) ※常駐がいませう。留守電の場合、氏名・電話番号の録音をお願いします。

Mail/sapporocinema@yahoo.co.jp HP/sapporocinema.net Twitterとfacebookでも情報発信中!



ndjc
NEW DIRECTIONS IN
JAPANESE CINEMA 2015

主催/クチコミ劇場実行チーム 共催/シネマ一馬力、札幌映画サークル 協力/札幌プラザ2・5 企画/札幌映画サークル 企画班
後援/北海道、札幌市、北海道新聞社、読売新聞北海道支社、朝日新聞北海道支社、毎日新聞北海道支社、MBC、MBCラジオ、STV、HTB、UHB、TVH、AIR-G+ エフエム北海道、FM-アースワープ、STVラジオ
※上記は後援申請中も含む

©2016 VIPO ©2016 GEEK PICTURES ©『走れ、絶望に追いつかれない速さで』製作委員会 クチコミサイト募集 #クチコミ2